

広報

きたはりま119



新組合章

<https://kitaharima119.net/home/>

ホームページが新しくなりました

災害のない明るい街づくり

vol. 23

- ・令和5年度予算の状況
- ・令和4年度情報公開条例及び個人情報保護条例の施行状況
- ・令和5年上半期出火原因別火災状況
- ・最近の火災事例から
- ・消防署トビックス
- ・まちかど救命ステーション制度
- ・消防指令業務
～119番通報最前線～
- ・消防職員募集



(左から：あいかちゃん・なみちゃん・しんいちくん・つばさくん)

令和5年火災・救急・救助件数 (1/1～6/30)

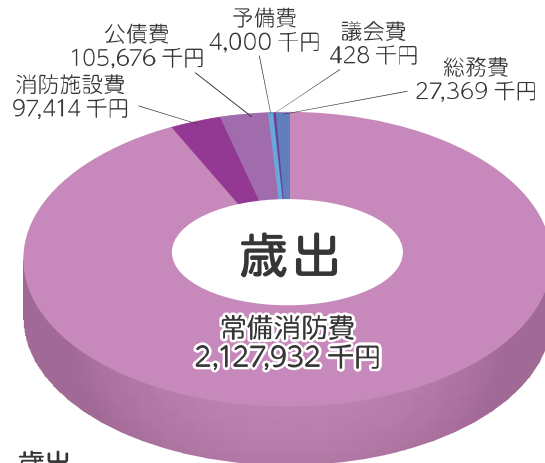
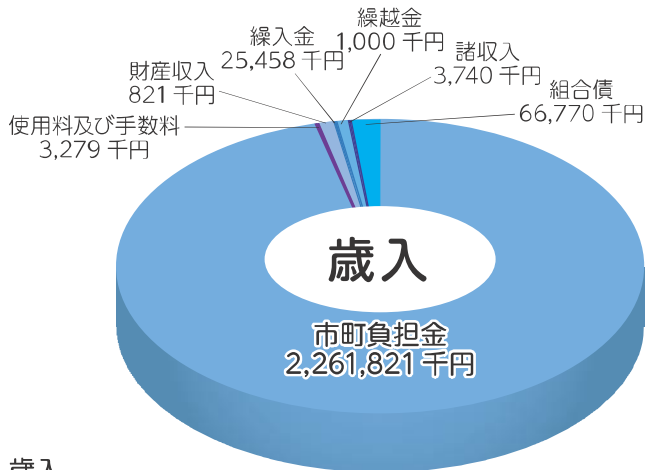
	西脇市	加西市	加東市	多可町	中国道	管外	合計
火災	10	12	21	11	-	-	54
救急	1152	1077	1081	499	12	-	3821
救助	17	25	31	11	-	-	84



ホームページはこちら

令和5年度 予算の状況

予算総額 2,362,819 千円



歳入

款	内容	金額
市町負担金	組合を構成する市町からの負担金	2,261,821 千円
使用料及び手数料	消防検査等の手数料	3,279 千円
財産収入	基金の運用利子	821 千円
繰入金	消防施設整備基金の繰入金	25,458 千円
繰越金	前年度の繰越金	1,000 千円
諸収入	その他の収入	3,740 千円
組合債	消防施設整備のための借入金	66,700 千円

歳出

款(目)	内容	金額
議会費	組合議会の運営活動費用	428 千円
総務費	組合全体の事務管理費用	27,369 千円
消防費(常備消防費)	消防業務に係る費用(人件費含む)	2,127,932 千円
消防費(消防施設費)	消防施設の整備費用	97,414 千円
公債費	借入金の返済費用	105,676 千円
予備費	臨時の支出に備えておく費用	4,000 千円

令和4年度 情報公開条例及び個人情報保護条例の施行状況

北はりま消防組合では、より開かれた組合行政の推進を目指して、保有している行政情報について、閲覧や写しの交付を請求できる情報公開制度を実施しています。

また、より公正で信頼される組合行政の推進を目指し、組合で保有している個人情報について取扱いのルールを定めるとともに、開示、訂正等を請求できる個人情報保護制度を実施しています。

この2つの制度の令和4年度の実施状況を次のとおり公表します。

令和4年度情報公開の実施状況

実施機関	開示請求件数	全部開示	一部開示	不開示	不存在	取下げ	審査請求
管理者	4件	0件	4件	0件	0件	0件	0件

令和4年度個人情報開示実施状況

実施機関	開示請求件数	全部開示	一部開示	不開示	不存在	取下げ	審査請求
管理者	3件	1件	2件	0件	0件	0件	0件

ご厚意に感謝します

加西消防署で役立ててほしいと伊東電機(株)様(加西市)からご寄附いただきました1000万円、女性更衣室エリアの改修をはじめ、高度救急救命処置人形、無人航空機及び周辺機器等を整備させていただき、令和5年2月13日に披露式典を執り行いました。

菅野包装資材(株)様(加西市)より、加西消防署で役立ててほしいと、活動時の暑熱対策用冷却ベスト21着、救助活動用資器材バッグ2個の計100万円相当の資器材をご寄贈いただき、令和5年5月18日に贈呈式を開催しました。

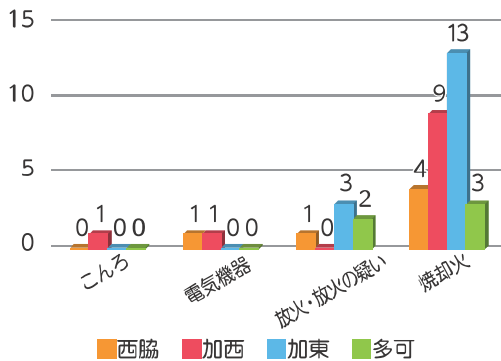
いずれも大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



令和5年上半期出火原因別火災状況

(1月1日～6月30日迄)

出火原因別火災状況



令和5年上半期
多かった出火原因は？

- 第1位 焼却火 29件
- 第2位 放火・放火の疑い 6件
- 第3位 電気機器 2件
- 第4位 こんろ 1件

火元から離れないで！！



令和5年上半期の火災件数は54件となっており、主な出火原因は焼却火29件、放火・放火の疑い6件、電気機器2件、こんろ1件の順となっています。

◇過去上半期の主な出火原因

	焼却火	放火・放火の疑い	電気機器	こんろ	たばこ
R4	29	3	1	4	1
R3	21			1	1
R2	26	3			3
H31	20			2	1
H30	19	2	2	1	1



過去5年間の主な出火原因を比べてみても、あぜ焼き等の焼却火からの出火件数が格段に多く、北はりま消防組合管内の火災原因の特徴となっています。焼却火から建物に燃え移った事例や亡くなられた事例もあります。

また、ゴミ焼きなどの禁止行為による苦情も多く寄せられています。みなさんで気持ち良く暮らせる安全で安心なまちづくりを目指しましょう。

バーベキューから火災

令和5年5月、福岡県内の

専門学校で開かれたバーベキューで、火力を強めようとした教員が炭に消毒用アルコールを加えたところ、激しく炎上し、近くにいた生徒の服に火が燃え移り4人がやけどを負い、うち1人が死亡する事故が発生しました。

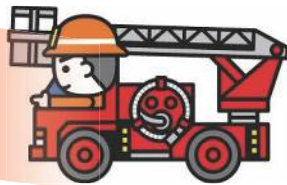


アルコールは揮発しやすく、多くの可燃性ガスが発生するため、火がつくと一気に燃え広がります。ジェル状の着火剤などにもアルコールが使用されています。着火剤を火のついた炭に加えても同じことが起こり得ますので気を付けて下さい。

新型コロナウイルス感染症の流行以来、各家庭でも消毒用アルコールを使用されることが多くなり、使用方法も様々ですが、絶対に誤った方法で使用しないようにして下さい。

バーベキューの注意点

- ★着火剤のグリル内への追加投入は厳禁
- ★化学繊維の服は燃えやすいので注意
- ★グリル付近には消火用の水を用意する
- ★使い終わった炭は水をかけても再燃の恐れがあるため、冷めるまで確認する



2023年度全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

事業所との合同訓練

令和5年5月26日(金)日清紡マイクロデバイス(株)やしろ事業所において、同社と加東消防署による消防総合訓練を実施しました。

南海トラフを震源とした震度5強の地震により、屋内貯蔵所から危険物が漏洩し出火、周囲の建物に延焼したとの想定。

逃げ遅れた要救助者の救出、避難経路の確認、通報訓練、避難誘導訓練、消防隊への情報伝達訓練など、いずれも的確に行われました。

また、訓練には、消防相互応援協定により隣接する小野市消防本部にも参加いただき、連携強化をはじめ、災害対応能力の向上を図ることができました。



消防隊とはしご車による放水

Mirraieのイベントに参加



令和5年5月4日(木)、西脇市茜が丘複合施設「Mirraie」のイベント「あそびのマルシェ」に西脇消防署も参加しました。

来場した子供たちに、防火衣の着装、はしご車への搭乗など、普段はできない体験をしてもらい、消防の仕事を身近に感じてもらったのではないかと思います。

また、住宅用火災警報器の啓発活動もを行い、「自分の命は自分で守る」という市民の防災意識の向上を図ることができました。

コロナ禍により、ここ3年余り控えられていたイベントですが、これからは積極的に参加し、地域住民の方々に身近な消防を感じていただきたいと思います。

泡消火薬剤による訓練

令和5年5月10日(水)、17日(水)に加西市クリーンセンター(加西市中山町)において、加西消防署、加西南出張所及び加西北出張所の職員を対象に泡消火薬剤を使用した泡放水訓練を実施しました。

訓練ではC A F Sという、水に圧縮空気と泡消火薬剤を混合させて発泡させる機能を備えた車両を使用し、混合割合を変えたり、様々な種類のノズルを使って、効果的な泡がどこまで届くのかを検証したりしながら、消防署の訓練場ではできない放水訓練を実施しました。

この訓練により、泡消火薬剤の有効性を再確認するとともに、今後も継続して訓練に取り組み、現場対応能力の向上につなげていきます。



泡消火薬剤を使用した消火訓練

令和5年度危険物安全週間推進標語
「意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ」



消防署ト

特殊災害救助隊発足

NBC災害（N：核 B：生物 C：化学）や救出困難な救助事案に迅速に対応するための特殊災害救助隊が発足しました。

令和5年4月5日（水）に北はりま消防本部で任命式が行われ、12名の救助隊員が東田消防長より任命書を受け取り、ワッペンが与えられました。

特殊災害救助隊は管内の災害出動はもとより、緊急消防援助隊の救助部隊としての出動も任務としており、国内で発生した大規模災害にも要請を受け出動します。

これからも訓練を積み重ね、国民の生命、身体及び財産の保護に全力を尽くします。



加東署・東条出張所 水防訓練

令和5年6月8日（木）、9日（金）に梅雨の長雨、局地的な集中豪雨などによる河川の氾濫に備え、職員の知識、技術の向上と災害発生時の的確な活動につなげることを目的に、加東消防署で水防訓練を実施しました。

訓練では、土のう作成要領の確認、積み土のう工法及び月の輪工法を実施しました。

基本的な手技ですが、水防工法の知識及び技術を再確認し、迅速で確実な工法の実施が必要であることを改めて認識することができ、とても有意義な訓練になりました。



トライやるウィーク

令和5年5月29日（月）～6月1日（木）に八千代中学校生4人、6月5日（月）～9日（金）に西脇市内の中学生6人がトライやるウィークのため西脇消防署に来てくれました。

初日は緊張した様子が見られましたが、放水訓練や救助訓練など色々と体験し、日を追うごとに顔つきがたくましくなっていました。

中でも救助訓練では、自分の限界に挑戦し、諦めない気持ちを学んでもらえたのではないかと思います。

今回の経験を、これからの学校生活でも活かしてほしいと思います。



消防指令業務 ～119番は災害現場の最前線～



消防指令センターは、119番を受報して、通報内容からその災害に最も適した車両を判断し出動させることを主な任務としています。また、現場指揮隊と情報を共有し、災害の全体像を把握して、ヘリ要請や部隊の増強等を行っています。

さらに、救命率を向上させるため、119番通報者に対する的確な口頭指導の実施にも取り組んでいます。

いち早く災害現場に到着するために



高機能指令台には様々な情報が入力されており、通報内容からいち早く場所を特定し、出動車両の選定を行い出動させますが、指令員が通報内容から現場の状況を判断し、出動車両を変更することもあります。



高機能指令台

災害現場を把握するために

指令員が管轄している地域に出向いて対象物や水利等の調査を実施しています。調査結果は指令台に入力し情報を更新します。見かけましたらご協力よろしくお願い致します。



現地調査



使用車両

口頭指導訓練



通報者から必要な情報を素早く聞きだし、災害現場に必要な隊をいち早く出動させるとともに、的確な口頭指導を行うために、119番受報時における指令員の技術向上訓練を実施しています。救命率・社会復帰率の向上には救急隊到着前の救命処置が必須であり、指令員が口頭指導を行いますので、指示に従ってください。



訓練風景

119番の受報は災害の最前線です。慌てず落ち着いて指令員の質問に答えてください。

消防車・救急車の要請は局番なしの119番！

「119番」は、消防車・救急車を要請する専用電話です。
通報の際は、あわてず落ち着いて、わかる範囲で質問に答えてください。
間違えて119番された方は、「間違いです。」と一言よろしくお願い致します。

消防テレホンサービス

災害案内 0795-48-0143

病院案内 0795-48-0147

[病院案内利用時間] 平日17:30～翌朝8:30 土曜日・休日9:00～翌朝8:30

※医療機関を受診する際は、行かれる前に必ず医療機関へ電話確認をお願いします。



まちかど救命ステーション制度について



まちかど救命ステーション制度とは

住民がまちなかで不慮の事故や急病により心肺停止状態になった場合には、救急車が到着するまでに近くのAEDを使用して一刻も早く応急手当を行うことが大変重要です。

「まちかど救命ステーション制度」は、AEDが設置され救命講習等の受講者が勤務しているなど一定の要件を満たしている事業所等を対象に、「まちかど救命ステーション」としてご登録いただき、事業所等の近隣で応急手当が必要になったときに御協力いただける体制を整えることで、管内における救命率や社会復帰率の向上と安全・安心を高める取り組みです。



標章交付証・標章ステッカーの交付

標章ステッカー (A5)



- ・制度の趣旨に賛同いただき、一定の要件を満たしている事業所等には、標章交付証と標章ステッカーを交付します。
- ・標章ステッカーは、事業所の入り口付近の見やすい場所に掲示してください。

その他制度詳細に関するお問合せは下記まで

北はりま消防 まちかど救命 [検索](#)

北はりま消防本部 警防部救急課
0795-27-8125

お気軽にお問合せください



「新米消防士が見た交通事故現場」

救助隊員 S・H

消防署に配属され数週間が経ったある日、救助隊員として初めての交通事故現場に出動しました。新米隊員として初めての経験から、焦りを感じながら出動準備をしたことを鮮明に覚えています。

事故の概要は、トラックと普通乗用車の衝突事故で車内に人が閉じ込められているとの内容でした。現場に向かう途中、第2報の無線が入り「要救助者2名のうち助手席の女性は自力脱出済み。運転席の男性については現在も挟まれており脱出できないもよう。」と現場の状況が伝えられました。

現場に到着し確認すると、男性の両足はダッシュボードと座席の間に挟まれ動けない状態でした。私たち救助隊は、特殊な器具を使用して両足が挟まった部分を開放し、男性を車外の安全な場所へ救出した後、救急隊へ引き継ぎました。

救急隊の観察と処置が始まり、先輩救急隊員から「頭部を保持して」と指示があり、私は男性の頭が動かないようにしっかりと保持しました。男性の意識は徐々に低下し、「頑張りましたよ。奥さんも頑張っていますよ。」と私は声をかけ続け、「絶対助けるから頑張れ」と心の底で叫んでいました。

その後救急車内に収容し、救急救命士による処置が行われ、ドクターヘリによって病院へ搬送され、男性は一命を取りとめることができました。

私は今回の出動で、救助隊の素早い救出活動と救急隊の的確な観察や処置を目の当たりにし、活動に携われたことを誇りに思うとともに、人命救助という崇高な任務を担う消防士という仕事を選んだことに間違いはなかったと強く思いました。

今後は、あの時一緒に活動した先輩隊員の方々に少しでも近づけるよう、日々努力を重ね住民のために全力で業務に取り組みたいと思います。

がんばれ!
しょうちゃん
きゅうちゃん
その15



わが家の 消防士



わが家の 消防士 大募集!!

あなたのお子様も消防士や救命士になって写真を撮ってみませんか? 北はりま消防本部には約100センチサイズの活動服や救命士服があります。気軽にお問い合わせください。

警防部警防課 (平日 9:00~17:00)
電話:0795-27-8123
E-mail:fd_keibo@kitaharima119.net

お問い合わせ先

ママシに咬まれたら

特徴

- 咬まれた部分が紫色になる
- 激しい痛みがあり、腫れてくる

処置

- すぐに医療機関を受診する (救急車を呼ぶ)
- 咬まれた部分を心臓より低くし、血を絞り出し傷口を洗う
- あまり動かさず、安静を保つ

消防職員募集

採用予定人数 6名程度
受付期間 7月24日(月)~8月10日(木)
試験日時 9月17日(日) 午前8時30分
試験会場 西脇市野村町1796-502 西脇消防署

試験内容 筆記試験、体力試験

その他

- 試験内容の詳細については、試験案内をご覧ください。
- 試験案内は、北はりま消防本部、各消防署にあります。また、ホームページからもダウンロード可能です。

問合せ先
北はりま消防本部 消防部総務課
☎0795(27)8119
<https://kitaharima119.net/home/>